

先日は「てがたん」にご参加いただき、ありがとうございました。「てがたん」の観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧下さい。次回1月の「てがたん」は1月9日(土)で「冬鳥を楽しむ」がテーマです。是非ご参加下さい。

*市民スタッフの方へ 次回「てがたん」の下見&打ち合わせは12月26日(土)9時30分からです。
よろしくお願いたします。

12月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→市民農園前→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2015年12月12日(土)10:00~12:00/晴れ
- 参加人数 21名(一般16人、子ども5人)
- 市民スタッフ 10名(伊東茂子、石原直子、木村稔、小泉伸夫、寒江洋次、須貝基康、
竹本周平、弘實さと子、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 1名(染谷実紀)

観察記録 — 12月に観察した生き物リスト —

【鳥類】

カモ科：カルガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：コサギ/
クイナ科：オオバン/カモメ科：ユリカモメ/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/シジュウカラ科：
シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/ムクドリ科：ムクドリ/ヒタキ科：ツグミ、ジョウビタキ/
スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/ホオジロ科：カシラダカ、オオジュリン/外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【昆虫・クモ】

チョウの仲間：モンシロチョウ、ヤマトシジミ/バッタの仲間：コバネイナゴ、イボバッタ/コオロギの仲間：マダラスズ

【花】

イネ科：スズメノカタビラ、セイバンモロコシ、チヂミザサ/ナデシコ科：オランダミミナグサ、ハコベ/スミレ科：スミレ、コスミレ/
カタバミ科：カタバミ、ムラサキカタバミ、アカカタバミ/アブラナ科：ナスナ/ナス科：イヌホオズキ/シソ科：ホトケノザ、
ヒメオドリコソウ/オオバコ科：オオイヌノフグリ/ハエドクソウ科：トキワハゼ/キク科：ヒメジョオン、セイタカアワダチソウ、
ハキダメギク、コセンダングサ、セイヨウタンポポ、オオジシバリ、オニタビラコ、ノゲシ、オニノゲシ/ツバキ科：ヤブツバキ、サザンカ

【実】

ニレ科：エノキ、ムクノキ/クスノキ科：クスノキ、シロダモ/ミズキ科：アオキ/センリョウ科：センリョウ/ヤブコウジ科：マンリョウ/
バラ科：トキワサンザシ/ツバキ科：サカキ、ヒサカキ/ヒノキ科：スギ、ヒノキ/モクセイ科：トウネズミモチ/マメ科：フジ/ミカン科：
ウンシュウミカン、ユズ/アケビ科：ムベ/マタタビ科：キウイフルーツ/ウリ科：カラスウリ/アジサイ科：ガクアジサイ/イネ科：
チカラシバ/アカネ科：ヘクソカズラ/オシロイバナ科：オシロイバナ

【きのこ】

スエヒロタケ科：スエヒロタケ/ミヤマトンビマイ科：オオミヤマトンビマイ

12月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「冬の散歩道」でした。
 生き物の冬場の様子を観察しながら散歩をしました。フレーム越しに生き物を観察して、普段見過ごしてしまいがちなところにも注目していただきました。



今月の案内人：伊東 茂子さん 石原 直子さん



① 青空によく映える紅葉したコナラの葉



② 日当たりの良い歩道に咲いていたスミシ



③ 江戸末期に観賞用として渡来したと言われるムラサキカタバミ



④ 日当たり具合によってイチョウの葉のつき方が違います



⑤ 実が下向きにつくマンリョウ



⑥ イチョウの幹の太さをはかりました。6m 24 cmありました。正解者にはミニ富士山をプレゼント。



12月てがたんの観察生物とルート



⑦ イチョウの葉に紙をのせ、色鉛筆でなぞると、葉の形がうつし出されました。



⑧ ヒサカキの実とつぼみ 関東ではサカキの代用として使用



⑨ 背面にあるイボが特徴のイボバッタ 日当たりの良い裸地に多い



⑩ 採食中のオオバンとコガモ (左：メス、右：オス)



⑪ 冬鳥のカンムリカイツブリ 冬羽は冠羽が短い



⑫ 羽を広げたカワウ 杭にはカワウの姿がたくさん

今月の鳥 コガモ (カモ目カモ科)

エクリップスで雌雄の違いがわかりにくかったコガモも、見分けやすい時期になりました。オスの頭部は鮮やかな緑色が目立ち、メスは全体的に茶色です。雑食性ですが、主に草の種子・葉・茎などを食べます。

手賀沼では9月中旬頃から5月初旬頃まで観察できるカモです。今回の「てがたん」でも近くで観察できました。



コガモ (オス)



左：オス 右：メス

誰の仕業？

鳥が食べたと思われる実を見つけました。どの鳥が食べたのでしょうか。



カラスウリ



採食中のヒヨドリ



キウイフルーツ



ムベ